

# 「2019酒まつり」に係る経済波及効果の推計調査結果（詳細）

令和2年2月5日発表 公益社団法人東広島市観光協会

## 《調査の目的》

「2019酒まつり」(2019年10月12日・13日)は、2日間で23万人が来場し、会場周辺(JR西条駅南側一帯の酒蔵地区)を中心に広島県内に多大な経済効果をもたらした。蔵元だけでなく、地元企業、学生等のボランティア、地元の学校の児童生徒等も参加して盛り上げ、地域活性化にも大きく貢献した。

この調査では、「2019酒まつり」が広島県経済に与えた効果を客観的に把握するため、「経済波及効果」について分析を実施した。

## 経済波及効果の推計対象項目と調査方法

(単位：万円)

	県内で発生した 需要額	県内の生産活動 への投下額	県外の生産活動 への投下額
来場者の支出	264,898	240,160	24,738
運営費	7,637	6,317	1,321
合計	272,535	246,476	26,059

## 広島県内で発生した需要額

項 目	調査方法
来場者の支出	来場者アンケート調査 出店者アンケート調査
運営費	実行委員会の決算資料

## 【調査方法】

経済波及効果は「来場者の支出」「運営費」の2種類に分けて推計、それらを合計して算出した。

## 【経済波及効果の推計結果】

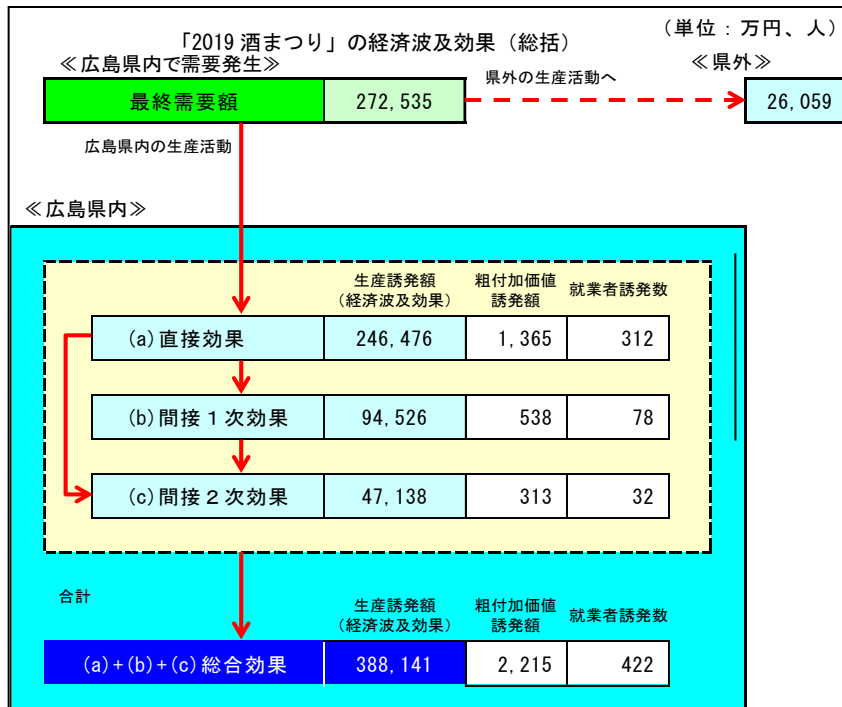
### 1. 経済波及効果の総括 38億8,141万円

県内で発生した需要額は27億2,535万円で、このうち広島県内の生産活動に投下された金額は24億6,476万円、県外に流出した金額は2億6,059万円と推計した。

県内の生産活動に投下された金額(直接効果)24億6,476万円から誘発された生産額(間接1次効果)は9億4,526万円、直接効果と間接1次効果により就業者の所得が増加して消費が増加した金額(間接2次効果)は4億7,138万円となり、これらを合計することにより経済波及効果を

を38億8,141万円と推計した。

前回(2014年)と比べ、来場者数は台風の影響で、25万人(2014年)が23万人(2019年)へと2万人減少したにもかかわらず、経済波及効果は前回の32億5,962万円に比べ、今回(2019年)は38億8,141万円と増加している。主因としては、宿泊客の割合が9.6%(2014年)→20.7%(2019年)と大きく増加したことにより、一人当たり支出額が増加したことが考えられる。



### 2. 経済波及効果の内訳

「2019酒まつり」の2日間の来場者数は、23万人であった。

来場者アンケート調査により、23万人のうち日帰り客が18万2,633人(構成比20.6%)、宿泊客が4万7,367人(同79.4%)と推計された。

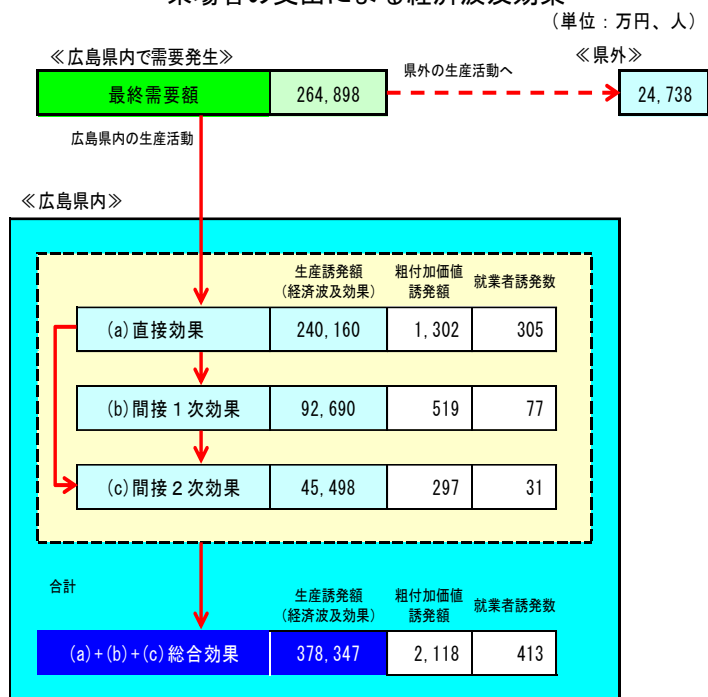
来場者アンケート調査と出店者アンケート調査により、広島県内における来場者の一人当たり支出額（酒まつり入場料除く）は、全体平均が11,517円、日帰り客が6,867円、宿泊客が29,446円と推計された。

この一人当たり支出額に来場者数を乗じて23万人分の支出総額を推計すると26億4,898万円となった。

来場者が広島県内で支出した金額26億4,898万円をもとに、産業連関表などを用いて、経済波及効果を推計した。来場者が県内で支出した金額26億4,898万円（注）のうち、広島県内の生産活動に投下された金額（直接効果）を24億160万円、県外産のお酒や食料品の購入などにより県外に流出した金額を2億4,738万円と推計した。

（注）26億4,898万円は、酒まつりの入場料を除いた金額。酒まつりの入場料は「来場者の支出」ではなく、後述する「運営費」に含めることとした（「来場者の支出」と「運営費」の両方に含めると重複計上となる）。

### 来場者の支出による経済波及効果



### 運営費による経済波及効果

実行委員会の「運営費」は7,637万円であった（決算資料）。この「運営費」には、ステージ等の各種イベントの運営費用、会場マップ、チケットの印刷費、会場の使用料、広告宣伝費等が含まれる。「運営費」のうち広島県内の生産活動に投下された金額を6,317万円、県外に流出した金額を1,321万円と推計。県内の生産活動に投下された金額（直接効果）6,317万円から誘発された生産額（間接1次効果）は1,837万円、直接効果と間接1次効果により就業者の所得が増加して消費が増加した金額（間接2次効果）は1,640万円となり、これらを合計することにより経済波及効果は9,793万円と推計した。

### 来場者23万人の内訳

（単位：人）

	アンケート	比率	来場者
県内	749	76.7%	176,506
日帰り	712	73.0%	167,787
宿泊	37	3.8%	8,719
県外	227	23.3%	53,494
日帰り	63	6.5%	14,846
宿泊	164	16.8%	38,648
全体	976	100.0%	230,000
日帰り	775	79.4%	182,633
宿泊	201	20.6%	47,367

### 来場者の消費単価（酒まつり入場料除く）

（単位：人、円）

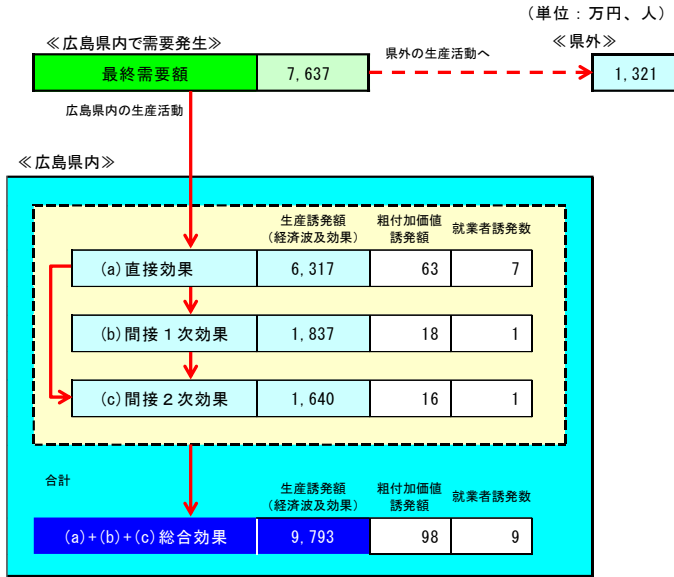
	日帰り	宿泊	全体
来場者数	182,633	47,367	230,000
一人当たり支出額			
交通費	1,374	8,661	2,875
宿泊費	0	10,278	2,117
土産・買物代	1,839	3,236	2,126
飲食費	3,611	6,649	4,236
他の入場料・観覧料	19	294	75
旅行代理店への支払	0	273	56
その他	26	56	32
合計	6,867	29,446	11,517

県内の生産活動に投下された金額（直接効果）24億160万円（注）から誘発された生産額（間接1次効果）を9億2,690万円と推計、さらに直接効果と間接1次効果により就業者の所得が増加して消費が増加した金額（間接2次効果）を4億5,498万円と推計した。

これらの金額（直接効果、間接1次効果、間接2次効果）を合計することで、経済波及効果を37億8,347万円と推計した。

（注）出店料は、出店者が獲得した利益の中から支払われ、実行委員会の「運営費」として活用される。本推計では、一旦、「来場者の支出」による経済波及効果を計算した後、「直接効果」から出店料を控除した。

## 運営費による経済波及効果



県内で発生した需要額は27億2,535万円で、このうち広島県内の生産活動に投下された金額は24億6,476万円、県外に流出した金額は2億6,059万円と推計した。県内の生産活動に投下された金額（直接効果）24億6,476万円から誘発された生産額（間接1次効果）は9億4,526万円、直接効果と間接1次効果により就業者の所得が増加して消費が増加した金額（間接2次効果）は4億7,138万円となり、これらを合計することにより経済波及効果を38億8,141万円と推計した。

以上

### (参考) 経済波及効果とは

ある産業に新たな需要が発生すると、その需要を満たすために必要となる原材料・部品・外注サービス等の産業にも需要が発生し、さらに、それらの産業の需要を満たすために必要となる原材料・部品・外注サービス等の需要も発生する。このように、産業と産業の取引関係のネットワークを通じて、ある需要が発生した場合に、他の産業に次々と需要が波及していくことを、経済波及効果と呼ぶ。

経済波及効果は、以下の3種類に分けられる。

①直接効果：最初に発生した需要のうち、地域内の産品を購入する金額。

②間接1次効果：直接効果を満たすために、地域内の部品・原材料・外注サービス等を調達する金額。

③間接2次効果：直接効果と間接1次効果を満たすために働いた従業者が賃金を得て、地域内の産品を消費する金額。

これら3種類の効果を合計した金額を「総合効果」と呼ぶ。一般に「経済波及効果」として公表されている数値は、この「総合効果」である。

酒まつりの場合は、上図の自動車を酒、タイヤを米、ドアを瓶などに置き換えて考えると理解しやすい。

### 参考 経済波及効果とは

